

## 高田理夫教授の御退官によせて

高田理夫先生には昭和62年3月31日をもって京都大学を停年退官されました。先生は昭和26年より、防災研究所の設立とほぼ同時に研究所に任官され、その後36年間にわたって研究と教育に専念され、また研究所および大学の管理・運営に尽くしてこられ、学問の進歩、後輩の育成ならびに研究所の発展に多大の貢献をされました。

先生は昭和24年3月に京都大学を御卒業になり、ひきつづいて大学院に御在学ののち、昭和26年6月より防災研究所助手として着任され、その後昭和34年3月助教授に、昭和40年4月教授に昇任されました。

先生は地震予知計測部門の主任を経られて、地殻変動研究部門の主任となられ、研究面で立派な業績をあげられるとともに、教育面でも多くの後輩の育成に当たられました。先生の研究は一貫して連続観測に基づく地殻変動の研究、とくにその地震予知への応用に関する分野で進められて来ました。先生は測地学的方法による地殻変動の観測、地殻変動ならびにデータ解析システムの開発、地震前後の地殻変動の研究を目指して、幅広く観測・研究を続けられ優れた研究成果を上げられました。なかでもとくに大地震の前兆である異常地殻変動の検出およびその解析は、国内外において高く評価され、その成果は昭和40年度から発足したわが国の地震予知計画の中で、地殻変動の連続観測が、地震予知の実現のための有効な手段になり得る重要な分野として、立案されるのに大きく貢献しております。

先生は地震予知の研究を推進するために、多くの地殻変動観測所や観測室の新設、拡充に努められました。昭和42年には研究所附属屯鶴峯地殻変動観測所を、また昭和49年には同宮崎地殻変動観測所の設立に尽力され、これらが実現したのは、両観測所の所長を併任されて、観測の実施の任に当られ、さらに昭和59年度から3ヶ年の計画で実施された日向灘地殻活動総合観測線の設置に尽力されました。このような観測施設の活動は、今後のわが国の地震予知研究のために、欠くことのできない重要な役割を示していることは明らかであります。

先生はまた地球物理学的観測法の応用として、地すべり現象の計測にも力を注がれ、地すべりの前兆の検出や地すべりの特性の把握に貢献されております。

また先生は、昭和58年5月から60年4月まで防災研究所長として所内の管理、運営に努められ、研究所の充実、発展に尽くされるとともに、同期間中は京都大学評議員として全学の管理、運営に参加されました。

先生の温厚、篤実でたえず相手の立場に心をつかわれる御性格は、研究所内外の多くの人々の信望を寄せられるところですが、学外においても日本測地学会、地震学会、日本火山学会、地すべり学会のお世話をされ、とくに日本測地学会においては長年委員として学会の活動とその発展に寄与されました。

このように幅広い学術分野で研究、教育面で大きな貢献をされ、また附属施設、研究所、大学、学会などで管理、運営の能力を発揮されました先生が、研究所を去って行かれることはまことに残念のきわみです。

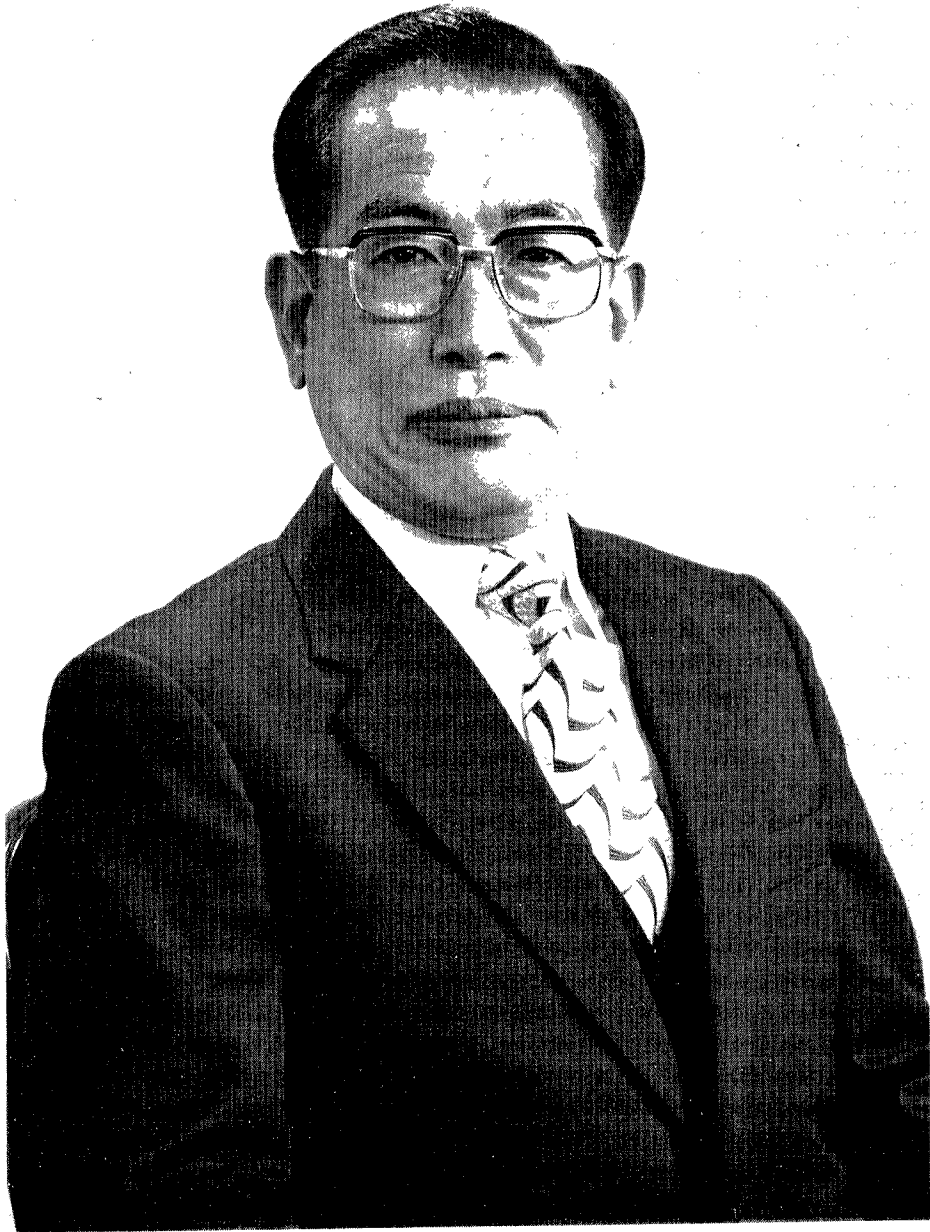
しかしながら先生は昭和62年4月より京都大学名誉教授の称号を授与されまして、今後なお本学、本研究所との縁は深いものがあり、さらにまた先生はまことに御健健でもあられますので、従来にもましてもっと御自由な立場から、われわれに御助言、御指導をいただく機会が多いものと期待しております。

最後に、先生の末長い御将来の御健勝と御多幸を心からお祈り申し上げます。

昭和62年4月

京都大学防災研究所長

奥田節夫



高田理夫教授

## 高田理夫教授略歴

- 大正13年3月17日 京都府に生まれる
- 昭和24年3月 京都大学理学部地球物理学科卒業
- 24年3月 京都府立朱雀高等学校教諭
- 24年4月 京都大学大学院入学
- 26年6月 京都大学防災研究所助手
- 34年3月 京都大学防災研究所助教授
- 34年7月 理学博士学位取得（京都大学）
- 40年4月 京都大学防災研究所教授（地震予知計測研究部門担当）
- 42年6月 京都大学防災研究所附属屯鶴峯地殻変動観測所長併任
- 48年5月 地かく変動研究部門担当
- 49年4月 京都大学防災研究所附属宮崎地殻変動観測所長併任
- 58年5月 京都大学防災研究所長，京都大学評議員（昭和60年4月まで）
- 62年3月 京都大学停年退官
- 62年4月 京都大学名誉教授

## 高田理夫教授 研究業績

## 論 文

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
1949	木造家屋の歪と耐震強度の関係について	地震, 第2輯, 第2巻, 第1号	
1950	歪計による木造家屋の振動測定と耐震判定に関する一考察	防災研究所研究報告, 第3号	
1956	On the Observation of Strain Before and After the Occurrence of Rockfalling	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., No. 13	
	On Strain of Wooden Houses Measured by Strain Meter and Criterion for Earthquake-proof	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., No. 13	
	地殻変動の遠隔観測について	京都大学防災研究所年報, 5周年記念論文集	
1958	砂防堰堤満水・貯砂による附近地盤の歪について	新砂防, 第28号	
	On the Observation of the Crustal Deformation and Meteorological Effects on It at Ide Observatory	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., No. 23	
	On the Crustal Deformation Due to Full Water and Accumulating Sand in the Sabo-Dam	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., No. 23	
1959	On the Observing Instruments and Telemetrical Devices of Extensometers and Tiltmeters at Ide Observatory	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., No. 27	
	On the Crustal Strain Accompanied by a Great Earthquake	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., No. 27	
1962	井手における地殻ひずみについて	京都大学防災研究所年報, 第5号A 創立10周年記念号	
1963	体積ひずみ計および面積ひずみ計による地殻ひずみの観測について	京都大学防災研究所年報, 第6号	
	地すべり地における土地ひずみの観測(序報)	京都大学防災研究所年報, 第6号	
	On the Crustal Deformation at Ide and Newly Constructed Volume and Area Dilatation Meters	Spee. Contr. Geophys. Inst., Kyoto Univ., No. 3	
1964	地すべり地における土地ひずみの観測(II)	京都大学防災研究所年報, 第7号	
	亀の瀬地域の地すべりについて	地すべり, Vol. 1, No. 2	
1965	On the Ground Deformation and Phenomena Forerunning Natural Disaster (Earthquake, Rock-falling and Landslide)	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 14, Part 3	
1967	屯鶴峰観測所における地殻変動観測(序報)	京都大学防災研究所年報, 第10号A	小林年夫・山田 勝
	地すべり地における土地ひずみの観測(III)	京都大学防災研究所年報, 第10号A	

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
	Continuous Observation of the Ground Deformations Related to the Matsushiro Earthquakes	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 17, Part 1	T. Ichinohe, T. Tanaka, T. Furuzawa, M. Kato, M. Koizumi and M. Yamada
1968	荷重変化に伴なう土地のひずみ傾斜の観測 天ヶ瀬地殻変動観測所における地殻変動観測 (序報)	京都大学防災研究所年報, 第11号A 京都大学防災研究所年報, 第11号A	竹本修三・吉田 登 尾上謙介・小林年夫 山田 勝
1969	光電変換装置による地殻変動のデジタル観測 地震に伴なう Strain Step について	京都大学防災研究所年報, 第12号A 測地学会誌, 第15巻, 2-3号	古澤 保・尾上謙介 竹本修三
1970	屯鶴峯観測所における地殻変動観測(第2報) 近畿北部の中規模地震と Strain Step について	京都大学防災研究所年報, 第13号A 地震, 第2輯, 第23巻, 1号	尾上謙介 竹本修三
1971	光波測量による地殻水平ひずみの観測(第一報)	京都大学防災研究所年報, 第14号A	田中寅夫・尾上謙介 山田 勝・藤田安良 大谷文夫
	屯鶴峯観測所における地殻変動観測(第3報)	京都大学防災研究所年報, 第14号A	尾上謙介
1972	地震予知と研究の現状	京都大学防災研究所年報, 第15号A	
1973	屯鶴峯観測所における地殻変動観測(第4報) 屯鶴峯における光電変換装置による伸縮計のデ ィジタル観測	京都大学防災研究所年報, 第16号B 測地学会誌, 第19巻, 2号	尾上謙介 古澤 保・尾上謙介
1974	屯鶴峯観測所における地殻変動観測(第6報) 天ヶ瀬地殻変動観測所における地殻変動観測 (第2報) 京都岩倉における地殻変動観測(IV)	京都大学防災研究所年報, 第17号B 京都大学防災研究所年報, 第17号B 京都大学防災研究所年報, 第17号B	尾上謙介・藤田安良 古澤 保・竹本修三 山田 勝 古澤 保・竹本修三 山田 勝
1975	屯鶴峯地殻変動観測所における地殻変動観測 (第7報)	京都大学防災研究所年報, 第18号B	尾上謙介・藤田安良
1978	天ヶ瀬地殻変動観測所における地殻変動観測 (第3報) 屯鶴峯地殻変動観測所における地殻変動観測 (第8報)	京都大学防災研究所年報, 第21号 B-1 京都大学防災研究所年報, 第21号 B-1	古澤 保・竹本修三 山田 勝 尾上謙介・藤田安良
1979	宮崎地殻変動観測所における地殻変動観測 (第1報)	京都大学防災研究所年報, 第22号 B-1	古澤 保・竹本修三 尾上謙介・寺石真弘 園田保美
1980	天ヶ瀬地殻変動観測所における地殻変動観測 (第4報)	京都大学防災研究所年報, 第23号 B-1	古澤 保・竹本修三 山田 勝
1981	降雨及び湧水量変化の地殻ひずみの観測に及ぼ す影響について一岩倉観測室の場合 地殻変動連続観測記録の集録・処理システム	京都大学防災研究所年報, 第24号 B-1 京都大学防災研究所年報, 第24号 B-1	古澤 保・竹本修三 山田勝 古澤 保・大谷文夫 寺石真弘

発表年	題 目	発 表 誌 名	共 著 者
	Observation of Crustal Deformation at Amagase Observatory	測地学会誌, 第27巻, 第4号	T. Furuzawa, S. Takemoto and M. Yamada
1982	九州南東部における光波測量(序報)	京都大学防災研究所年報, 第25号 B-1	古澤 保・大谷文夫 寺石真弘・園田保美
	近畿中央部における地殻変動連続観測	測地学会誌, 第28巻, 第2号	古澤 保・竹本修三 尾上謙介
1983	宮崎地殻変動観測所における地殻変動観測 (第2報)	京都大学防災研究所年報, 第26号 B-1	古澤 保・大谷文夫 寺石真弘・園田保美
	Crustal Movement Observed at Amagase Observatory	Bull. of Disas. Prev. Res. Inst., Kyoto Univ., Vol. 33, Part 2	T. Furuzawa and S. Takemoto
1984	防災問題における資料解析研究(11)	京都大学防災研究所年報, 第27号 A	後町幸雄・松村一男
1985	防災問題における資料解析研究(12)	京都大学防災研究所年報, 第28号 A	佐藤忠信・松村一男
	1984年8月7日向灘地震に関連した宮崎地殻 変動観測所における地殻変動と地震活動	京都大学防災研究所年報, 第28号 B-1	古澤 保・大谷文夫 寺石真弘
	地殻伸縮ひずみと降雨の関係について—屯鶴峯 地殻変動観測所の場合	京都大学防災研究所年報, 第28号 B-1	尾上謙介